

7 提言案の地域別説明会及び意見票での意見等 (区内22ヶ所の説明会ほか)

	意見等
1	区の役割の中に住民が参加する。どこまで区民が参加するのか、批判だけに終わる人をどう取り組むのか、大きく構えないで地道に。
2	区民の怒り等の問題では、住民が動き出すのではないかと。地域開発等初めは多数集まるが、次第に少なくなってきた少数意見が主流になってしまう。どんなテーマに人が集まるか思い浮かばない。既存の団体は、年中行事消化型になっている、この体質を変えないと。
3	協働という言葉を使うことにしたのが良い。行政が区民の意見を聞かないと言うのを区民は言っているか、実は無関心が多く言っていない。この制度が区民に知られることにより、発言する場が出来た。意見の集め方として投書箱等設けては。
4	区民の底上げをしていく必要がある。
5	よくまとめられたと思う。地域の人が、住民会議や町会、そのほかの活動に参加することが大事だが、なかなか参加してくれない。区民の意識をどう啓発するかが問題。
6	行政の意識改革だけではなく、区民の意識改革も必要だ。
7	行政に文句ばかりではなく、区民も行動することが大切。
8	大人といえども区のことを知らず、発言する訓練が必要だ。
9	提言案には大賛成だが、一般人とのギャップが大きい。
10	既存の力が大きい。フォーラムでの考え方が良い方向にどう流れるか。“しくみ”が出来て区民がどうするか。
11	区民に協働が理解されるのだろうか。
12	フォーラム終了後も監視役が必要。3年越し位に考えないと間に合わない。
13	協働意識が重要。信頼関係が出来てきた。NPOは協働が良い。NPOがゴッコになってはいけない。
14	エンジンとなると、推進協議会のようなものが必要。有志を集める必要がある。
15	区民がこの運動にもっと力を入れれば、それだけ議会としても提案を受け入れやすくなると思う。
16	行政が、フォーラムの具体化された案をきちんと反映した提案とするようもっていくことも重要。

17	行政と区民の役割分担をどうするかと聞いていた。地方分権で民間が担うとなると育成していくことが難しい。各々の取り組みをどうネットワーク化していくか、地域にはいろいろな人が居る。ネットワーク化は難しい。議会との繋がりをどう考えるか。
18	提言がどう活かされるか不安。行政がどう扱うか、まとめた事はすごいが目黒区の代表意見か、区議会との関係は。区長がどう考えるか。
19	政策に優先順位があると思うので、下の方に置かれるのではないかな。
20	歴史的に上手くいかない部分がある、政治的不信を取り除くことが必要。実現できなくてがっかりしないようお願いしたい。
21	枠組みが出来たので、わかりやすくすることが必要ではないかな。区民全体のものにしていくのが勝負。
22	「より良い目黒」とは基本的な事項ゆえ、なんなのかの更なる議論が必要ではないかな。
23	興味はあったが参加できなかった。参加者が少ない。参加するにはエネルギーが必要。意識改革をどうするか。
24	今、お互いに必要しあっていると思う。公が何かを作る時にはもっと区民の意見も聞いて欲しい。出来上がってからでは使えないものでもない物でも直しが効きません。こちらからの提案は勿論のこと、区側からも広く、民の声を聞くようなシステムを協働フォーラムが作って欲しい。
25	町会と住区住民会議が敵対しているところがある。提言の内容は良いが、行政の捉え方として住区住民会議が不要として使われる懸念がある。5年先の方向性を見ておく必要がある。
26	静かに暮らしている区民にとっては、より安全で安心な街を念願する。より美しい町並みと環境が、住民をほっとさせてくれる。安らぎのある静寂の街区が元気活力のもとだ。
27	背伸びしない、腰を低くした活動も一つの考え方と思われる。あれもこれもと欲張らない精神が必要な場合もあります。区民お互いの違いを認め合うという、根っこも大事かと思う。
28	区民活動活発化は役に立つのかな、現在は区民の意見を聞く制度になっていない。区議会を含め生かしてくれるのか、活かせば変わってくる。
29	区が説明するのかなと思っていた。よくまとめた。フォーラムのやってきたことを理解できた。
30	この提言は過程であると理解している。今後関心を持って見ていきたい。
31	この提言は、自分のやりたいことを実現できるしくみであると理解している。
32	素晴らしいものが出来上がった。公と私がかみあってオープンになっていけば、こういうことも必要ないのであろうが、今、お互いに必要しあっていると思う。
33	なかなか良く出来た提言案だと思う。やや表現が堅く行政的だが、今後具体的な内容が加わっていけば、その内容も充実してくると思います。
34	今まで、地域密着型のテーマ等についてはそれなりの検討過程もあったが、区行政全体に係るテーマについて、区民が積極的に関わるといふ場、機会がなかった。この点で、このフォーラムは極めて有意義なものである。

35	次の3点を強調したい。1) 少子高齢化対策 2) 学校選択性の問題点、若者を育てること 3) 大気汚染
36	自分たちで行動も良いが、行政は多いに活動すべき。(同時に区民活動には青山講師の言うごとくリスクもあることを要認識。)
37	ひと、もの、かねのしくみができれば、良い目黒が出来ると思う。
38	可能な限り協力したい。
39	「区民としてのプロ」を目指したい。行政がアマ化しており、まずお互いがプロとして行動すべし。役人のやるべきことは役人に任せるべき。また議会の「行政の執行が正しく実施されているのかの監視」責任をより強く実行させるべきではないか。
40	代表民主主義なので、区民の代わりに議員から意見を聞く。区も議員もどういしくみがあれば聞けるか考えている。財源が限られている中でどう使うか、全ての課題を解決することは出来ない。有限の中でどう担うか、基金も形、行政の責任放棄ではない。
41	行政と区民が対等ではなく、区民優位が基本的考えの根底にあるべき。その優位性を持って区民は行政にその執行を委ねているもの。
42	情報が必要、今は行政内部の情報は区が行っている。しかし、区議会との関係で議会に説明していないから話せないと言われる。情報がないと参画出来ない。
43	全て区議会とはどうかと思う。インターネットで議会の議題が出ない、傍聴者には資料は配られない、議員も当日でしかわからない。議会を否定するのではないが、議会の報告はない。
44	「協働とは異質なもの同士の関係を表現したもの」が理解しにくい。
45	区長に提言を出すときは、区民が読みこなすことが必要。カタカナが多い。例えば「ポータルサイト」という語は初めて聞いた。
46	「はじめに」はお座なりだ。区民へのメッセージとしてもっと格調高く読んだ人に感動を与えるようにして欲しい。
47	審議会は法律でつくられた概念なので、言葉を変えたい。協働型政策協議会など。
48	事例集などがあると分かりやすい。
49	大筋は理解したが、部分的に矛盾しているのではないか。
50	書き方に工夫を、読む気がしない。
51	これから始めるのでまだ事例はないにしても、想定事例のようなものがあれば分かりやすいと思う。
52	今後は、シンプルで親しみやすいPR材料が必要。Q&Aを入れる、例示を入れるなど必要。

53	協働型審議会というが、それぞれ考え方が違う。それをどう調整するか、具体的に記入した方がよいのではないか。提言がきれいごと過ぎる。
54	世田谷から転入したが、世田谷は要求だけの一方交通だが、この提言案ちがうので驚いてる。しかし、具体的に何をやるかわかないと、意見が出にくい。
55	提案の内容をより具体的にすべき。
56	間口が広すぎるのではないかな。
57	協働としては、具体的な施策などを提案した成果、結果を出すべきである。
58	提案後の協働のあり方が見えない。
59	「政策提言」に関わる具体的なテーマについてはどうか。
60	説明を聞いて、一般区民から遊離している気がする。
61	協働の実現性に疑問を感じる。
62	きれいごとにかかれすぎているのではないかな。今までの経験からすると大変だ。
63	区民の暮らしをどうするか。どの程度予算に反映されたか、ほとんど0。反映するといっていたが0。今までのやり方を改善しなければダメ。
64	情報審議会を2年行ったが、取り仕切る人が大学教授で討論するところではないと言う。区から言われた事を聞くだけ、審議会のあり方を変えなければダメ。
65	説明会や公聴会では難しい。区民と行政が素直に話す訓練が必要。
66	意識を持っている人の情報共有が必要。
67	目黒では、子供の発言の場が無い。
68	特に政策過程への参加が最も重要。いかにこれを実現させるかのしくみが具体的に必要。
69	各種審議会での参加者は不活発で、形だけの参加が現状。
70	委託する場合、質のチェックをどうするのか。区民側の選別の項目の目をどう育てると言う問題がある。

71	事業の選別は、きちんとしなければならない。人を集めるには草の根が必要。
72	(協働事業の公開審査について)公開しても意見の吸い上げが出来ないと意味がない。
73	より良い協働事業をする為には、事業協定をどのようにするかがポイント。
74	総合学習をやっているが、売り込んで学校の考え方と合えば受け入れてくる。
75	「発案者が実施まで」とすると、発案者が減るのでは。
76	地域に協働事業で仕事があることは良いことだ。
77	専門的でなくても事業は進めていけるのではないか。
78	このしくみにNPOが参加すればいろいろ出来る。政治団体、政党グループの係りはどうなるのか。提案のなかにある団体が圧力的にならないか。
79	活動拠点につき、一般区民活動とNPOの間が抜けている。今は、場所取りとPR手段に苦慮している。
80	人が一番先ではない。場所、かね、情報が必要である。区民にはアイデアがあるがエネルギーがない。
81	中目黒の企業約20社にポイ捨てなどの、街の美化を呼びかけた。5回位やった。声をかけるとやってもらえるが継続性が問題。
82	情報発信の場がない。パーシモンは掲示をする場のない建物である。集まりの後、交流会の中で活動聞き、こんなものがあつたのかということになる。公開する場が欲しい。
83	なにかやりたくても金が無いと出来ない。
84	自由に使える場が確保されていればグループが出来る。
85	協働の前に支援が必要ではないか。
86	関連あるグループの情報があれば良い。行政が流してくれれば。
87	行政が変わってこない、使いにくい場所がある。住区センターでいろいろ規制を加える箇所がる。
88	2つの活動を行っているが、回りに話しかけてきてもらうのが大変。知ってもらいたいのが先決。

89	サークルをやろうとして意見を言っても、取り上げられない。品川区には多目的施設(例えば健康センター)がある。目黒区の施設はアルバイト管理で、管理が悪い。
90	ファンドについては、目黒区の財政の中で、拠出方式でよるのがよいと思う。
91	誰と一緒にやってくれるか不安である。人と人との出会いの場が必要。その意味でセンターが必要である。
92	中心になって推進していく人が居なければうまくいかないと思う。人集めも重要。
93	人材については、最近の傾向として、暮らしに余裕ができてきたのに、協力姿勢に乏しく消極的である。いろいろな人の意見を集めることが必要と思う。
94	情報について、住区センターの掲示や区営の町会の掲示板で掲示が氾濫している。一方、紙媒体・インターネットと多種の媒体がある。めぐろ区報では足りないのではないか。港区の「KISSポート」の情報誌は出来ないか。
95	協働の拠点などは行政で維持すべき(男女共同センターなどの、例もある)
96	しくみは緩やかなものにして、参加しやすいようにしたい。
97	既存団体と人材バンクの整合性が取れるように。
98	情報については、その定義、有効性の評価、消化率など各面より更なる議論が必要。
99	このような活動は大いに賛成。但し、自治基本条例がまずあるべき。自分たちは25年近く、ある活動を続けてきているがその経験、また、行政は条例によって動くものであることなどより重要と考えている。
100	早く条例化に持っていく必要がある。(すぐには無理でも、提言に区民の活動には資金が必要と書かれてあるが、これらの実現の為にも条例化が必要。)
101	条例を策定してもらうには自治体の1/50の署名捺印が必要。(目黒では約4000人)今から署名活動をやった方が良いのでないか。
102	フォーラムに参加している人の参加の動機と何の活動をしているか聞きたい。参加者が少ない。これが障害にならないか。区長に出す前に活発化しなければ。不足分は補ってあげればよい。
103	このフォーラムの参加者はどういう人が居るのか。所謂「専門家」の参加はないのか。
104	この「フォーラム」は結局のところ、行政のコンサルタント的なものではないか。
105	区民が大事と思われる課題を取り上げて、関心を持ってもらう必要があるのではないか。軌道に乗せるためには専門の人が必要ではないか。他区の人意見も参考に。目黒区は年寄りが多い、その人たちが住区をやっている。一方、地域との結びつきがない人等多様な人が居るが、どんな意見を持っているのか聞けば発展するのではないか。

106	区民がフォーラムをよく理解しているか疑問。また提案が区民意見反映と言うには、更なる工夫が必要ではないか。
107	この説明会に多くの参加が無いことは残念。
108	協働区民フォーラム立ち上げと現在そして今後、どれくらい経費がかかったのか、かかるのか、その明細を提示していただきたい。
109	意見を出してほしいと言われて、意見をだすとそのままになることが多い。モニタリングが必要。結果がどうなったかわかるようにしてほしい。
110	フォーラムは町会、自治会、住区住民会議と重なり合うのでは。
111	東根では住区住民会議が町会を潰すのではないかと心配した。20年目でようやく一緒にやる方向が出てきた。それだけエネルギーがいる住民会議をもっと活用すべきではないか、行政から声がかからなかった。住民会議からすると住区をつぶすのではないかと思った。
112	これまでも現在も、地域住民のニーズに対応しようと、努力を重ねてこられた町内会、住区住民会議の活動をどのように評価されるのか。
113	協働区民フォーラムの提言案作成に際して、町会・住区を始めとする「区民活動団体」の代表を入れずに、提言は「区民活動団体」に及ぶという矛盾をどのように説明されるのか。
114	区の人がない。行政の意識改革とあるので区がいて、意見を聞いてもらってもよいのではないか。
115	行政は縦割りが強い。区はどういう姿勢か。
116	協働区民フォーラムは前区長の時始まったが区長が代わって温度差は無いのか。
117	議会との関係はどうなるのか。
118	行政は同じ目線に立っているか。
119	前区長との協定だったが区長が代わってどうなるか。区政の集いの中で、前区長の発言したことが現区長と変わり、分からないといっている。どうなるか心配。
120	新しい提案をしても返事が戻ってこなかった。
121	新しい区長へのフォーラムに対する取り組みが見えぬが、フォーラムよりも区長への説明等働きかけがあるべきではないか。
122	住区の問題も難しいと思う。
123	18年度から自主管理の方向が出されている。行政とのやり取りの中で懸念をもっている。

124	提言案を読むとNPO中心、NPO性善説のように受け取られる。今、議論するときではないのかもしれないが、NPOが簡単に出来て、NPOに金や情報がどんどん流れるのでは困る。
125	この提言は、住民会議、町会、自治会に関する論議とは別のもので、むしろこれらも事業内容によっては区民活動団体になり得る。
126	区内の団体が4000くらいあるということだが、パブリシティに欠けるようだ。具体的にはどんなものがあるかわからない。
127	町会、自治体、住区住民会議など「やりたいときにやりたいことをする。」だけでなく、必要なものは我慢してでもやっている。既存のシステムにもっと配慮した議論が必要ではないか。
128	提案書は読めば読むほど分からなくなってしまったのが実態。
129	皆さん、一生懸命やってきたことは理解できる。